

## 23 「分からないことば辞典」を作ろう

J S L生徒にとっては面倒で敬遠したくなる部分であるが、自分で辞書を作ること  
で 日本語の辞書の配列や活用のある単語の言い切りの形（終止形）、拗音、長音、促  
音、濁音に慣れることを目的とする。

- 1 領域 言語事項
- 2 教材 単語カード
- 3 目標 ・自ら辞典を作ることによって日本語に慣れ、日本語の辞書を使いこなせるようにする。
- 4 指導時間 初回は1時間、その後は随時
- 5 指導形態 取り出し又は在籍学級
  - ア. 分からないことばを文節か単語に絞り込めない J S L生徒は事前・事後に取り出し指導で（事前が望ましい）
  - イ. それ以外の J S L生徒は在籍学級において宿題等で（チェックが必要）
- 6 指導事項 ・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
言語事項	<b>【語彙】</b> ・語彙を拡充する。  <b>【単語・文法】</b> ・日本語にはそのままの形では辞典で調べられない単語があることを知る。	・自ら辞典を作ることによって、日本語の国語辞典の分類形式（五十音順・長音・拗音・促音・濁音・半濁音の扱い）に慣れ、辞書を引くことができる。 ・分からない単語の意味が分かる。 ・単語の区切り（自立語・付属語の区別と品詞分類）ができる。 ・活用のある単語を辞書形（言い切りの形）にできる。

- 7 その他  
留意事項

- ア. 単語・読み仮名・日本語の意味・見出し語・用例までは書く。
- イ. 品詞・対義語については指導者が教えて書かせてよい。
- ウ. 母語での意味・母語訳は分かる範囲でよい。
- エ. あくまでも読解のツールとして使う。

## 《 単語カード 》

リング穴

(よみがな) ○ 単語	日本語の意味	品 詞	見出し分類
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
母語での意味	用 例		対 義 語
	(用例)		
	(母語訳)		

- ア. 左上をリングで留める。  
 イ. 各学習教材を学習しながらカードを作っていく。  
 ウ. 見出し分類に従って「あいうえお」順（辞書順）に並べ替えていく。  
 \*各行、色を変えて示すとよい。  
 エ. 一年間で一冊の**単語カード帳**を作る。

(よみがな) ○ 単語	日本語の意味	品 詞	見出し分類
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
母語での意味	用 例		対 義 語
	(用例)		
	(母語訳)		